

## 市民に開かれた川崎市議会へ 新体制の議会活動がスタート！



- 1963（昭和38）年、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブナーイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 2015年4月、同3期目当選。
- 川崎市議会 環境委員会副委員長
- 神奈川県後期高齢者医療広域連合議員
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

（事務局）

4月の市議会議員選挙で選ばれた新しい市議会が始まりましたね。

（堀添）

はい。議員の任期は5月3日からの4年間となります。先週の議員総会を経て、本日から初の本会議となる臨時会がスタートとなりました。

この臨時会では、正副議長をはじめとする議会人事や、常任委員会の所属決定などを行っています。

（事務局）

市議会は普段、どのような活動をされているのでしょうか。

（堀添）

市議会の役割を一言でいえば、川崎市としての最終的な意志決定を行うこととなります。

（事務局）

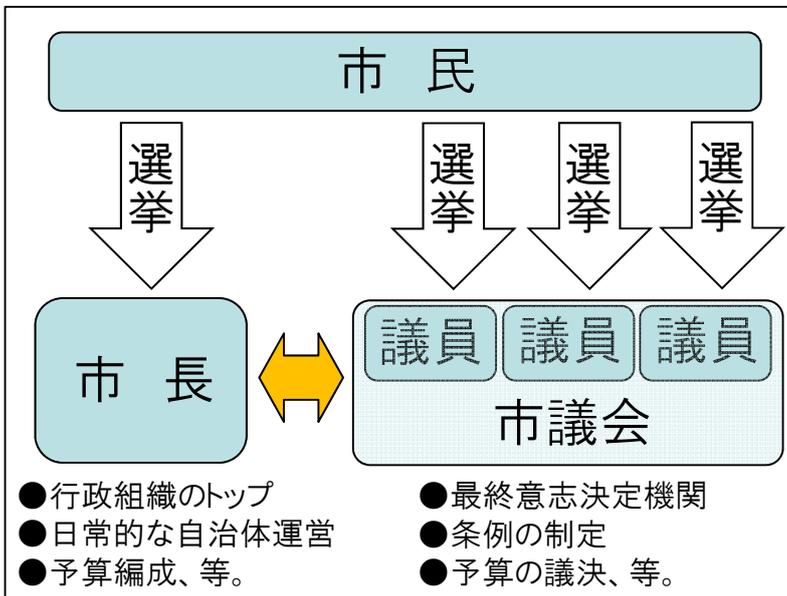
決定は市長が行うのではないのでしょうか？

（堀添）

このあたりは誤解されている方の方が多いかもしれませんが、自治体としての最終的な意志決定は、あくまで市議会の役割となります。これは、他国においても同じです。

選挙で選ばれた議員による合議機関が最終意志決定の場であることは、民主主義制度の基本要件でもあります。たとえ選挙で選ばれたとしても、市長や知事のような独任制の機関が最終決定権を持つ政治体制は、民主主義制度とは認められていません。

とはいえ、実際の自治体運営では、市長や知事などの首長が強力な権限を行使しているのが実情です。議事機関としての市議会の役割をきちんと果たすためにも、川崎市議会基本条例で定めた「市民に開かれた議会」への取り組みが重要だと思えます。



（事務局）

議会の役割は「最終的な意志決定」とのことですが、どのように行っているのでしょうか。

（堀添）

決定は、議員全体が出席する「会議」で行われます。いわゆる「本会議」と呼ばれているもので、議場で開催されます。

川崎市議会では本会議を年4回行っており、各々1か月程度の会期となっています。

本会議は、60名の市議会議員全員が参加しますので、詳細な議論にはどうしても限界があります。そのため、川崎市議会では、常任委員会での議論を重視した議会運営を行っています。

